



Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2019年6月6日 (木)

NO. 966号

本号3頁

本日6日の衆院憲法審査会は開催されません！

4日の昼に、衆院憲法審査会の幹事懇が開催され、与党は国民投票法改正案の審議・採決を6日の審査会で行うよう提案。野党はCM規制等のための参考人質疑等を行い、合わせて国民民主党提案の改正案も十分審議するよう主張。合意に至らず、休憩へ。休憩状態のまま、5日は幹事懇が開催されませんでした。本日6日の憲法審査会の開催はありません。

なお、野党の幹事懇が5日午前に開催され、これまで通り対応して行くことを確認しています。

自民・下村氏 改憲議論へ「大連立も選択肢の1つ」と発言？

自民党の下村憲法改正推進本部長は3日夜、憲法改正の議論を進めるために、野党と大連立を組むのも選択肢の1つだとの考えを示しました。下村氏は「個人的な思い」だとして、「テーマによっては党議拘束を外すとか、あるいはテーマによっては逆に大連立を組むとか、思い切ったことをやっていかないと、なかなか憲法議論に着手できないのではないかと述べました。下村氏は、記者団に対し、国会での憲法改正議論が「膠着している」との懸念を示し、野党との大連立も選択肢だとの考えを示したものです。

これに対し、公明党の北側憲法調査会長は、「憲法改正、まだ具体的な内容、まだ全く議論されていないわけですから、その具体的な内容がない中で何を争点にするのでしょうか」と、否定的な考えを示しました。また、北側氏は憲法改正を参院選の争点とすることについて、「憲法改正原案ができつつある状況になれば、争点になっていくのだろうが、今は全くその段階に至っていない」として争点にならないとの考えを示しました。また、山口那津男代表は4日の記者会見で、下村氏の発言について、憲法改正を目的とした「大連立」に言及したことについて、不快感を示しました。山口氏は「今のところ、連立という重要課題について、自民党幹部から何か話を聞いたことは全くない」と怒りを語りました。

憲法審査会で全く議論されていないのに「党議拘束を外す」とか、「大連立を組む」とかの発言を今、どうしてするのでしょうか？分かりませんが、国民は改憲を望んでいません。こんな空論は止めて、きっぱりと改憲を断念すべきではないでしょうか。

各地のとくくみ

埼玉憲法会議 「2019輝け！日本国憲法のつどい」を開催

埼玉憲法会議は5月29日、さいたま市で「2019輝け！日本国憲法のつどい」を開催し、170人が参加しました。

広渡清吾東京大学名誉教授が講演し、沖縄県では憲法を守ろうという勢力が常に意思を示して勝利し続け、全国のたたかいを励ましていると指摘。野党共闘にも言及し、「32ある参院選1人区のほとんどで候補者の一本化が決定し、共通政策でも合意に至った。野党共闘の力は前回の参院選で実証済み。無党派層や選挙に無関心な層にとって安倍政権に代わる新しい選択肢になる」と力説しました。また、旧民主党が政権を取った総選挙の投票率は今より10%以上高かったと指摘し、「10%は約1000万票に当たる。反安倍政治を掘り起こし、野党統一候補への投票を呼びかけよう」と訴えました。

その後、埼玉県平和委員会の二橋元長事務局長が特別報告を行い、米軍が横田基地の工事に伴う大量の土砂の所沢通信基地への搬入を強行していると告発。「土砂搬入中止と基地撤去、日米地位協定見直しを求めるたたかいを共に進めてほしい」と呼びかけました。

埼玉 「共闘で改憲阻止」 オール埼玉総行動に1万2千人

実行委員会主催、埼玉弁護士会、連合埼玉、埼玉労連後援の、安全保障関連法の廃止などを求める市民集会「6・2 オール埼玉総行動」が2日、埼玉県さいたま市浦和区の北浦和公園で開かれ、約1万2千人が参加しました。「立憲主義を取り戻す！戦争させない9条をこわすな！」をスローガンに埼玉から流れを変えるべく、共闘していこうと決起しました。

オール埼玉総行動は2015年5月に第1回が開催され、今回で8回目。小出重義実行委員長は「安倍政権が主張する自衛隊明記の9条改憲を、断じて許してはならない。今年は日本が戦争する国になるかどうかの正念場の年。みんなで共闘し、安倍改憲を阻止しましょう」と呼び掛けました。

ゲストスピーカーとして登壇した国際ジャーナリストの伊藤千尋さんは「世界に誇れる憲法9条は、米国から押し付けられたのではなく、日本から生まれたもの。私たちは世界の平和のため、憲法9条を広めていく役割を担っている」と訴えました。

野党各党の国会議員も参加。立憲民主党の枝野幸男代表（衆院埼玉5区）は参院選での野党共闘などを挙げ、「有権者の皆さんの力を総結集し、一人一人が豊かさを実感できる、そして大切な平和を守り抜く政治へと変えていきましょう」と声を上げました。国民民主党の大島敦典代表（衆院埼玉6区）、共産党の塩川鉄也衆院議員、社民党の福島瑞穂参院議員もあいさつしました。

大阪 9日には春の憲法大学習会を開催します！

大阪の各地で3000万人署名推進のとりくみ等が展開されています。

- ・城東 6月9日も午後5時から鳴野駅前宣伝。22日は午後2時20分にバス停集合。古市方面軒並み署名にとりくみます。
- ・大阪12区市民連合 市民と野党の本気の共同で安倍政権にサヨナラを！12区4決起集会を21日午後6時から大東市民会館キラリエホールにて、富田宏治先生を講師に迎え開催します。
- ・高槻 5月19日行動はJR高槻南陸橋にて署名は80人。一人で18人集めた人も。共産党から宮原、中村、宮本議員が参加しました。
- ・東大阪 参院選は最大の正念場ととらえ、3000万署名推進に取り組んでいます。6月は7日、19日宣伝。8日には演劇とトークで考える東大阪の教科書問題にも取り組みます。

そして、春の憲法大学習会が6月9日（日）13:30開場で、生野区民センターホールで中野晃一先生（上智大学教授）を迎えて行われます。大阪の方、近府県の方、是非ご参加ください。

「非核・平和のための日韓国際フォーラム」に参加して 報告1

5月30、31日とソウルで開催されました「非核・平和のための日韓国際フォーラム」に参加して来ましたので、報告します。（憲法会議 高橋信一）

(1) フォーラムの目的等

トランプ米大統領が5月25日、国賓として来日。ゴルフや相撲に晚餐会。安倍首相は天皇まで利用して、米国トランプのポチごとく、屈辱的外交でトランプをもてなし、日米の貿易不均衡解消策の「8月発表」まで約束させられました。

さて、そのトランプが日本を離れた翌日30日から31日に「非核・平和のための日韓国際フォーラム」が、韓国ソウルで開催されました。フォーラムの目的は、①非核・平和の朝鮮半島・北東アジアの実現に向け、日韓の市民社会の役割を果たすため、NGO、運動、国民レベルでの交流・連帯・協同を強める。②被爆者とともに、「核兵器は使用されてはならない」「人類と共存できない」の声を北東アジアで広げ、ヒバクシャ国際署名を推進する。同時に、日本と韓国の被爆者への援護・連帯を強める。③過去の戦争における加害と被害の関係、歴史認識、戦後処理の問題などを背景に、日韓関係には現在も様々な問題が横たわっている。同時に、日韓の市民の協同は、非核・平和の朝鮮半島・北東アジアを実現する上で、最も求められている課題である。フォーラムを通じて、これらの問題について相互理解と交流を強める。の3点。



参加者は、市民団体、研究者、国会議員（日本側は日本共産党宮本徹衆院議員）、日本・韓国の被爆者等、延べ300人。

憲法会議からは、事務局長の高橋が参加。次の資料のハングル語訳を作成し、持参しました。

① 憲法会議（憲法改悪阻止各界連絡会議）とは？②憲法会議の発した声明 ○「歴史的な南北・米朝首脳会談—始まった平和へのプロセス 憲法9条をもつ私たちの運動で成功に導きましょう。○「今が正念場！3000万人署名をやりとげ、安倍9条改憲にとどめを！—施行72年目の憲法記念日にあたり呼びかけます—」 ③自民党のまとめた4項目の改憲条文案、④憲法前文

2. 開会総会

5月30日（木）、10時から12時30分まで開会総会が開催されました。会場はフランシスコ教育会館（ソウル市中区）の礼拝堂でした。開会総会は2部構成で行われました。

第一部 開会総会

1) オープニングスピーチ 韓国女性団体連合ベック・ミスン氏、民医連西澤淳事務局次長

2) 被爆者発言

韓国原爆被害者協会 イ・ギョユル会長

▶広島7万人、長崎3万人合わせて10万人の韓国人が被爆。5万人が犠牲となり、残り5万人が生存。残った人々の待遇は、日本はもちろん韓国国内でさえ、誰一人その存在を認めてくれなかった。絶望と飢えの中で貧しく、苦しい生活をしてきた、等と報告。

日本被団協 藤森俊希事務局次長

3) 連帯の発言 コラソン・ファブロス非核フィリピン連合事務総長

第二部 基調報告7名が発言

1) 全労連小田川義和議長が総がかり行動実行委員会共同代表として発言

「東北アジアの安定と平和の実現を求める日本国内の取り組みの現状」

2) 全国民主労働組合総連盟（民主労組）副委員長 イ・サンジン

「韓国と日本の労働者・民衆が東北アジアの平和な時代の主人公になろう」

3) 原水協 安井正和事務局長

「朝鮮半島の非核化と平和の基本方向、日本の運動の課題」

▶朝鮮半島の非核化と平和の構築は、①平和体制と非核化を一体的にすすめてこそ、前進できる。②相互信頼をつちかひながら、段階的にすすめてこそ前進できる。2006年の6カ国協議の共同声明の「約束対約束」、「行動対行動」の提起は重要だと指摘。

4) 平和と統一を聞く人々 コ・ヨンデ（高永大）共同代表

「朝鮮半島の非核化と平和協定及び日本の軍事的対外膨張阻止のための共同闘争へ 非核—平和の東アジアを構築しよう！」

▶「平和憲法を守ることは日本を超えて韓国など東アジアの平和勢力の共同の切迫した課題。これまでのどんな時より切実に韓国の市民陣営間の団結と闘争が求められている」と。

5) 新日本婦人の会 笠井貴美代会長

「日本の女性運動と非核・平和、ジェンダー平等」

▶安倍政権に立ち向かって、9条改悪を許さず、核兵器禁止条約の批准を求める市民社会の中で役割を発揮し、ジェンダー平等でも、#MeToo運動と連帯してセクハラや性暴力、性差別を許さないと声をあげ、新たな行動に立ち上がっていると、活動を報告。

6) 円仏教教務 元永常氏

「円仏教のサード撤廃運動と韓半島平和構築」

▶慶尚北道星州軍草田面韶里に配備された戦争武器サード（高度ミサイル防護体系）の撤廃に向けた円仏教の運動について報告。

7) ジョゼフ・ガーソン アメリカ 平和軍縮共通安全保障キャンペーン

「朝鮮半島の平和と非核のための外交と連帯 米国の行動と展望」

以上の報告がありました。



（次号に続く）